

議題3 シミュレーションによるゾーニング検討について

喫食2時間以内のためには1車1校配送としても、配送時間50分以内を目安とする必要がある。エネルギーコストや配送にかかる人件費を節減するためには、1車複数校配送を考慮し、配送時間が短いことが望ましい。それを踏まえ、ゾーニング検討のシミュレーションを行った。

【検討の視点】

◆将来的2施設化の採否

2施設や2施設+1施設延命による将来的2施設化は、喫食2時間以内を基本として考えた際、配送時間上慎重な検討が必要であり、遅延リスクを極力無くしていくためには、3施設での整備パターンが望ましいと考える。

なお、都市高速道路については、冬季凍結や交通事故等の事情による通行止めの際、代替路線がないなど、給食遅延もしくは中止のリスクが大きいことから、使用しないことを前提とする。

今後、2施設パターン等も含めて財政上の試算を行う必要があるが、基本的には3施設の選択を前提に検討していく。

◆事業エリアの確定

早期再整備実施のために、次年度着手目標である第1センター事業エリアの特定については、エリア検討の状況や、ローリング計画の面から今後検討し、可能であれば年内に案を提示していきたい。

今後、建築計画のライフサイクルコスト試算や事業手続き、用地売買にかかる収支や利便性等を踏まえて詳細を詰めていく。